

クライマーズ・ハイ (The Climber's High)

観賞日 2022年12月26日 上映時間 145分

【概要】

制作 2008年

監督 原田真人

原作 横山秀夫

脚本 加藤正人、成島出、原田真人

音楽 村松崇継

撮影 小林元

出演 堤真一（悠木デスク）、堺雅人（佐山キャップ）、尾野真千子（玉置千鶴子）

山崎努（白河社長）、遠藤憲一（等々力社会部長）、皆川猿時（伊東販売部長）

でんでん（亀嶋整理部長）、蛭雪次朗（迫村編集局次長）、滝藤賢一（神沢周作）



【あらすじ】

1985年8月。群馬県の地方新聞社、北関東新聞社（北関）は県内で起きた日航機墜落事故でてんやわんやの大騒ぎになっていた。「日航全権」デスクに任命された悠木は谷川岳登攀を急遽取りやめて任務に就く。社内には10数年前に県内で起きた大事件（連合赤軍事件、大久保清事件）で活躍した上司世代との争い、締め切り時間を巡る販売部との争い、長期政権で社内に君臨する白河天皇の存在がある。

また社外では、全国紙各社とのスクープ合戦に苦闘する。事件の起きた現地の地元紙として、意地でも負けるわけにはいかない北関。どなり合いつかみ合いを続けながらクライマーズ・ハイ状態で紙面づくりに邁進する記者たち。漸く、事故の原因が圧力隔壁の破壊にあるとつつかんだ悠木だが。チェック、ダブルチェックを信条とする悠木がとった行動は・・・。

家庭をも顧みず仕事に全精力を傾けた男が、22年前に果たせなかった谷川岳の登攀を、亡くなった同僚の息子と行いながら回想する若かりし頃の熱き思い出、苦い悔恨。

【解説】

■ポイント

●原作はベストセラー作家、横山秀夫の長編小説

原作は群馬県の地方紙の記者であった作者が記者時代に実際に経験した日航機墜落事故をモチーフにした長編小説。作者が得意とする組織の中で理想と現実のはざまに苦闘する人間模様を渾身の筆で描く。

●クライマーズ・ハイとは

登山時の興奮状態が極限にまで達し、恐怖感が麻痺してしまう状態のこと

この作品では、それを回避する概念としてチェック、ダブルチェックが使われている。

■見どころ

●熱気あふれる社内の風景

連合赤軍事件、大久保清事件以来の重大事故に直面した記者たちの燃えたぎる熱気がいきいきと描かれ迫力ある映像となっている。

●その後にブレイクした俳優が多数出演

堺雅人、遠藤憲一、尾野真千子、滝藤賢一・・・